



# 世界銀行東京事務所ニュースレター

2023年（令和5年）4月号



WorldBankTokyo



@worldbanktokyo

## マルパス総裁の動き

### マルパス総裁、宇宙飛行士候補と面会（3/8）

マルパス総裁は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の宇宙飛行士候補に選抜された諏訪理・上級防災専門官と面会し、祝福のメッセージを寄せました。



### マルパス総裁、国連事務総長と会談（3/23）

マルパス総裁は、ニューヨークの国連本部を訪れ、国連水会議に参加しました。また、グテーレス国連事務総長との面会では、途上国が直面する様々な課題や、開発のための資金拡大の必要性について議論しました。



### 春季会合に先立つ総裁講演（3/30）

マルパス総裁は、春季会合@ワシントンに先立ち、西アフリカ・ニジェールを訪問し、ニアメ大学で「危機下の成長と安定」と題した講演を行い、ウクライナでの戦争の影響や、債務、金融引き締め進展など、途上国経済を取り巻く課題に言及する一方、安定的なマクロ経済運営の確保を通じた民間投資の促進、国際公共財への資金調達強化の重要性を強調しました。



## 国際シンポジウム@広島「復興から成長へ：広島の経験に学ぶ～ウクライナ・東欧・中央アジア諸国との対話」

世界銀行 TDLC（東京開発ラーニングセンター）と広島市は、平和記念公園内の広島国際会議場フェニックスホールで、国際シンポジウム「復興から成長へ：広島の経験に学ぶ」を開催しました。岸田総理・マルパス総裁のビデオメッセージ、鈴木財務大臣（代読）・湯崎広島県知事・松井広島市長のご挨拶を頂いた他、来日



したウクライナのユルチェンコ副大臣（インフラ担当）・世界銀行ユルゲン・フォーゲル副総裁（持続可能な開発担当）が基調講演。広島ウインドオーケストラ・平和を運ぶ合唱団による演奏を交えつつ、広島の戦後復興を写真とナレーションで振り返った後、東欧・中央アジア諸国からの参加者を交えたパネルディスカッションが行われ

ました。また、TDLC は、シンポジウム開催の機会を捉え、広島市との間で、福岡・北九州・神戸・京都・富山・横浜に次ぎ 7 番目となる都市連携パートナーシップを締結し、途上国政府・自治体職員への研修など様々な面で協力を深めていく予定です。

## 世界銀行グループ日本人職員募集（締切：4/14）

優秀な日本人スタッフの更なる活躍を目指し、ジュニアプロフェッショナルオフィサー（JPO）・ミッドキャリア（MC）16ポジションの募集が始まりました。採用説



明会やキャリアセミナーも全国各地で開催中です。左記 QRコードをご覧ください。



## 複数の証券会社がサステナブル・ディベロップメント・ボンドを日本の個人投資家に共同販売：水・海洋資源の重要性を啓発

世界銀行（IBRD：国際復興開発銀行）は、水・海洋資源の重要性の啓発を図るサステナブル・ディベロップメント・ボンド（3年・1,870万ドル（25億円））を発行し、静銀ティーエム証券株式会社、七十七証券株式会社、第四北越証券株式会社、中銀証券株式会社、めぶき証券株式会社を通じ、日本の個人投資家にご購入頂きました。



## 東京防災ハブの動き：ASEAN・災害リスクファイナンス

世界銀行グループは、日本政府や ASEAN 諸国と緊密に連携し、災害発生時に保険金支払を行う SEADRIF（東南アジア災害リスク保険ファシリティ）の設立・運営に協力してきました。こうした中、東京防災ハブは、災害発生後の復興支援体制強化に係る戦略策定支援などを進めています。3月27日には、カンボジアの災害リスクファイナンス戦略策定に係る最終会合を開催。4月5日には、ラオスの災害リスクファイナンス戦略策定を受けた記念式典が同国内で開催されます。



## 東京事務所職員紹介



### 野々目悦代：予算会計担当

2004年入行。世界銀行 TDLC（東京開発ラーニングセンター）、ラオス事務所を経て、2012年より現職。入行前は日系金融機関でファンド資産運用業務に従事し、ドイツ（デュッセルドルフ）の邦銀で欧州企業向けシンジケートローン融資、プロジェクトファイナンス融資担当。ウォーリック大学大学院・ジェンダーと開発学修士。